

業務及び財産の状況に関する説明書

【2023年3月期】

この説明書は、金融商品取引法第46条の4の規定に基づき、全ての営業所若しくは事務所に備え置いて公衆の縦覧に供するため、又はインターネット等で公表するために作成したものです。

大熊本証券株式会社

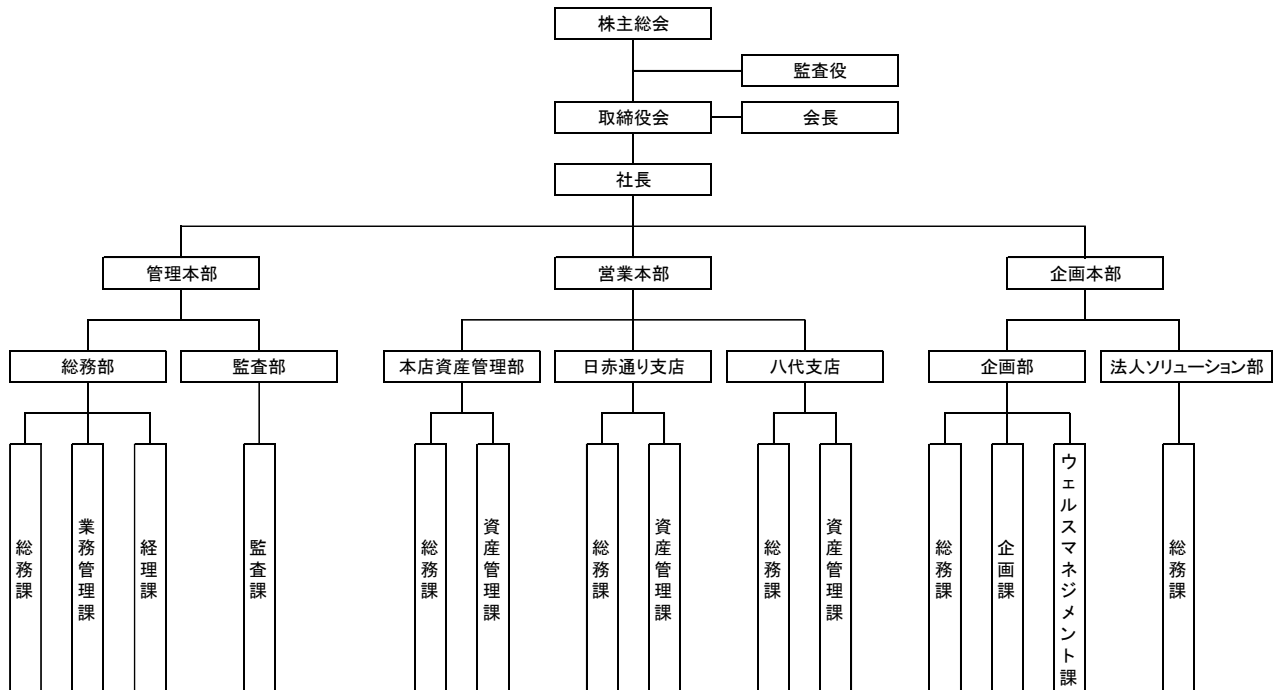
I. 当社の概況及び組織に関する事項

1. 商号 大熊本証券株式会社
2. 登録年月日（登録番号） 平成19年9月30日（九州財務局長（金商）第1号）
3. 沿革及び経営の組織

(1) 会社の沿革

| 年 月 | 沿 革 |
|----------|---------------------------------|
| 昭和11年11月 | 創業者・平野昇により、熊本市花畑町に「平野株式会社」を開業 |
| 昭和22年 2月 | 大熊本証券株式会社を設立、取締役社長に平野昇就任 |
| 昭和25年 5月 | 天草営業所を開設 |
| 昭和39年11月 | 取締役社長に出田信夫就任 |
| 昭和43年 4月 | 証券取引法第28条による免許取得(1号、2号、4号) |
| 昭和44年 4月 | 本社ビル完成 |
| 昭和54年11月 | 八代営業所を開設 |
| 昭和58年10月 | 取締役社長に出田信行就任 |
| 昭和62年11月 | 玉名営業所を開設 |
| 平成 2年 4月 | 八代営業所を支店に昇格 |
| 平成10年12月 | 証券業の登録[九州財務局長（証）第1号] |
| 平成11年 4月 | 資本金を343,560千円に増資 |
| 平成18年 6月 | 日赤通り支店を開設 |
| 平成19年 9月 | 金融商品取引業「第一種業」の登録[九州財務局長（金商）第1号] |
| 平成20年 1月 | 天草、玉名両営業所を支店に昇格 |
| 平成30年 6月 | 取締役社長に出田信秀就任 |

(2) 経営の組織



4. 株式の保有数の上位 10 位までの株主の氏名又は名称並びにその株式の保有数及び総株主等の議決権に占める当該株式に係る議決権の数の割合

2023年3月31日現在

| 氏名又は名称 | 保有株式数 | 割合 |
|----------------------|-------------|---------|
| 1. 出田 信秀 | 573,000 株 | 20.46% |
| 2. 有限会社 証券ビル | 247,000 株 | 8.82% |
| 3. 岩井コスモホールディングス株式会社 | 220,000 株 | 7.85% |
| 4. 株式会社 証券ジャパン | 210,000 株 | 7.50% |
| 5. 出田 信行 | 200,000 株 | 7.14% |
| 6. 出田 光子 | 123,000 株 | 4.39% |
| 7. 出田 貴子 | 123,000 株 | 4.39% |
| 8. 園 景子 | 123,000 株 | 4.39% |
| 9. 株式会社 肥後銀行 | 115,000 株 | 4.10% |
| 10. 大熊本証券 社員持株会 | 104,300 株 | 3.72% |
| その他(29名) | — | 27.24% |
| 計39名 | 2,800,000 株 | 100.00% |

(注) 割合は小数点以下第3位以下を切り捨てて表示しております。

5. 役員の氏名又は名称

2023年6月15日現在

| 役職名 | 氏名又は名称 | 担当 | 代表権の有無 | 常勤・非常勤の別 |
|---------|--------|-----------------|--------|----------|
| 代表取締役社長 | 出田 信秀 | — | 有 | 常勤 |
| 常務取締役 | 村上 圭一郎 | 営業本部長 | 無 | 常勤 |
| 取締役 | 池尻 修 | 管理本部長 兼 監査部長 | 無 | 常勤 |
| 取締役 | 清水 孝洋 | 企画本部長 | 無 | 常勤 |
| 監査役 | 梅元 昭宏 | — | 無 | 非常勤 |

6. 政令で定める使用人の氏名

(1) 金融商品取引業に関し、法令等を遵守させるための指導に関する業務を統括する者の氏名

2023年3月31日現在

| 氏名 | 役職名 |
|------|-----------------------------|
| 池尻 修 | 取締役管理本部長 兼 監査部長 (内部管理統括責任者) |

- (2) 投資助言業務又は投資運用業に関し、助言又は運用を行う部門を統括する者の氏名
該当事項はありません。

7. 業務の種別

(1) 金融商品取引業（金融商品取引法第2条第8項）

1. 有価証券の売買、市場デリバティブ取引
2. 有価証券の売買、市場デリバティブ取引の媒介、取次ぎ又は代理
3. 取引所金融商品市場における有価証券の売買又は市場デリバティブ取引の委託の媒介、取次ぎ又は代理、又は外国金融商品市場における有価証券の売買取引の委託の媒介、取次ぎ又は代理
4. 有価証券の売出し
5. 有価証券の募集若しくは売出しの取扱い又は私募の取扱い
6. 有価証券取引等又はデリバティブ取引に関して、顧客から金銭又は有価証券の預託を受けること
7. 社債等の振替に関する法律に規定する社債等の振替を行うために口座の開設を受けて社債等の振替を行うこと

(2) 付随業務（金融商品取引法第35条第1項）

1. 有価証券の貸借
2. 信用取引に付随する金銭の貸付
3. 顧客から保護預りをしている有価証券を担保とする金銭の貸付け（内閣府令で定めるものに限る。）
4. 有価証券に関する顧客の代理
5. 受益証券に係る収益金、償還金又は解約金の支払に係る代理
6. 累積投資契約の締結（内閣府令で定めるものに限る。）
7. 他の事業者の事業の譲渡、合併、会社の分割、株式交換若しくは株式移転に関する相談に応じ、又はこれらに関し仲介を行う業務
8. 他の事業者の経営に関する相談に応じる業務

(3) その他の業務（金融商品取引法第35条第2項から第5項まで）

1. 生命保険の募集に関する業務

8. 本店その他の営業所又は事務所の名称及び所在地

2023年3月31日現在

| 名 称 | 郵便番号 | 所 在 地 |
|--------|----------|-----------------|
| 本店 | 860-0807 | 熊本市中央区下通1丁目7-19 |
| 日赤通り支店 | 862-0924 | 熊本市中央区帯山9丁目3-5 |
| 八代支店 | 866-0855 | 熊本県八代市袋町6-58 |

9. 他に行っている事業の種類

該当事項はありません。

10. 苦情処理及び紛争解決の体制

| 業務の種別 | 苦情処理措置及び紛争解決措置 |
|-------------|--|
| 第一種金融商品取引業務 | 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センターとの間で特定第一種金融商品取引に係る手続実施基本契約を締結する措置 |

11. 加入する金融商品取引業協会及び対象事業者となる認定投資者保護団体の名称

日本証券業協会

12. 会員又は取引参加者となる金融商品取引所の名称又は商号

該当事項はありません。

13. 加入する投資者保護基金の名称

日本投資者保護基金

Ⅱ. 業務の状況に関する事項

1. 当期の業務の概要

(1) 事業の経過及び成果

[日本経済と証券市場の概況]

当年度は、ロシアによるウクライナ侵攻によって地政学リスクが顕在化し、相場全体が不安定化しました。また、前年度から続いている世界的なインフレは鎮静化せず、利上げによる景気への影響も出てきており、株式市場は年度を通して神経質な展開が続きました。

このような環境の下、営業収益は533,837千円（前期比68.6%）と減収となりました。

[事業の経過及び成果]

今期の日本株式市場は、年度を通して一進一退のレンジ相場が続いたことから低商いとなり、株式売買代金は318億9,397万円（前期比96.7%）でした。その結果、委託手数料は302,880千円（同93.0%）と減少しました。また募集・売出手数料も56,721千円（同68.4%）と減少し、その他受入手数料は72,495千円（同104.7%）となりました。またトレーディング損益は、米国の大幅利上げにより米国株式、米欧債券が軟調な推移となり、取り扱いが大きく減少したことによって88,705千円（同30.8%）と大幅減少しました。

また、電算システムのリプレースにより器具備品費は98,123千円（同156.6%）と増加しましたが、人件費が354,189千円（同83.8%）と減少したことにより、販売費・一般管理費は609,778千円（同93.9%）と減少しました。

以上の結果、経常損益は△68,057千円、当期純損益は△72,683千円と赤字転落となりました。

(2) 設備投資と資金調達の様況

当事業年度の設備投資総額は11,000千円となりました。その内訳は以下のとおりです。

| 設備投資額 | 資金調達の状況 | 備考 |
|----------|---------|------------------|
| 11,000千円 | 自己資金 | ソフトウェア（新規システム導入） |

(3) 対処すべき課題

前期は、年度を通して厳しいマーケット環境が続きました。ウクライナ情勢は未だ収束の兆しが見えない中、欧米を中心に高インフレが続いたことによって、急激かつ大幅な利上げを余儀なくされ株式、債券市場ともに下方圧力がかかりました。とりわけ米ナスダックは大きく下げ、GAFAMを中心にハイテク株に比重を傾けていた多くの投資家が損失を被ることになり、当社の商いも低調に推移しました。

しかし今期に入ってから、株式市場に活気が戻りつつあります。特に日本株については、5月に3万円を回復し心理的節目を上抜けたことによって、投資マインドが改善してきております。要因は様々ですが、去年一年間でインフレに代表される多くのリスクを織り込んでしまったことによるものと思われます。

米株式市場についても年明け以降ハイテク関連を中心に切り返しの動きが続いております。当社としてはこれまで通り世界経済や、急激に変動するマーケットに配慮しながら、それぞれのお客様に相応しい情報提供や商品案内をしてまいりたいと思っております。まだ多くのリスクをはらんでいますので、コンプライアンスを徹底し顧客本位のコンサルティングに努めてまいります。

また法人ソリューション部では、「iAM（アイアム）」という無形資産マッチングサービスの枠組みを通して、知財ビジネスの活動領域を広げているところです。九州外での提携としては、今村証券（石川県）と長野証券（長野県）と、知財や産学連携においてビジネスマッチング支援を目的としたコンソーシアムを立ち上げました。今後積極的に地域企業の支援を行っていきたいと考えております。

また22年10月に営業を開始した金融商品仲介ビジネスのミライズアセット（株）も、人員を拡充してIFAとの提携に向けて活動を積極化しております。地域金融機関や保険代理店など、対象先を広げて連携強化を深めて参りたいと思っております。こうした様々な取り組みが本業の資産運用ビジネスに少なからずシナジーをもたらしており、今後とも新しい事業に力を注いでいく所存です。

最後に、来年からは大きく拡充される新しいNISAが始動し、より一層証券市場に資金が流入するものと思われ、それに向けた準備を進めてまいります。同時にDXを推進することで業務効率を上げ、従業員にとっては働きやすい、顧客にとってはよりアクセスしやすい証券会社を目指してまいりたいと存じます。

2. 業務の状況を示す指標

(1) 経営成績等の推移

(単位：千円)

| | 2023年3月期 | 2022年3月期 | 2021年3月期 |
|-------------------------------------|----------|----------|-----------|
| 資本金 | 343,560 | 343,560 | 343,560 |
| 発行済株式総数(千株) | 2,800 | 2,800 | 2,800 |
| 営業収益 | 533,837 | 778,699 | 1,018,989 |
| (受入手数料) | 432,097 | 477,745 | 507,506 |
| ((委託手数料)) | 302,880 | 325,621 | 404,819 |
| ((引受け・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料)) | — | — | — |
| ((募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱い手数料)) | 56,721 | 82,892 | 43,040 |
| ((その他の受入手数料)) | 72,495 | 69,231 | 59,647 |
| ((顧客紹介料)) | — | — | — |
| ((事務手数料)) | 12 | 8 | 5 |
| ((M&A関係収益)) | — | — | 5 |
| ((保険関係収益)) | 2,556 | 263 | 955 |
| ((知財マッチングに係る業務委託報酬)) | 600 | — | — |
| (トレーディング損益) | 88,705 | 288,188 | 498,472 |
| ((株券等)) | 53,290 | 203,968 | 379,874 |
| ((債券等)) | 34,820 | 83,630 | 118,456 |
| ((その他)) | 593 | 589 | 141 |
| 純営業収益 | 529,207 | 774,240 | 1,014,032 |
| 経常損益 | △68,057 | 141,422 | 372,537 |
| 当期純損益 | △72,683 | 89,745 | 245,297 |

(2) 有価証券引受・売買等の状況

① 株券の売買高の状況(電子記録移転有価証券表示権利等に係るものを除く。)(単位：百万円)

| | 2023年3月期 | 2022年3月期 | 2021年3月期 |
|----|----------|----------|----------|
| 自己 | 7,027 | 22,048 | 29,884 |
| 委託 | 31,893 | 32,980 | 39,745 |
| 計 | 38,921 | 55,028 | 69,630 |

①-2 株券の売買高の状況(電子記録移転有価証券表示権利等に係るものに限る。)

該当事項はありません。

- ② 有価証券の引受け及び売出し並びに特定投資家向け売付け勧誘等並びに有価証券の募集、売出し及び私募の取扱い並びに特定投資家向け売付け勧誘等の取扱いの状況（電子募集取扱業務に係るもの及び電子記録移転有価証券表示権利等に係るものを除く。）

（単位：千株、百万円）

| 区 分 | 引受高 | 売出高 | 特定投資家向け売付け勧誘等の総額 | 募集の取扱高 | 売出しの取扱高 | 私募の取扱高 | 特定投資家向け売付け勧誘等の取扱高 |
|----------|-------|-----|------------------|--------|---------|--------|-------------------|
| 2023年3月期 | 株券 | — | — | — | 6 | — | — |
| | 国債証券 | — | / | — | — | / | — |
| | 地方債証券 | — | / | — | — | / | — |
| | 特殊債券 | — | — | — | — | — | — |
| | 社債券 | — | — | — | — | — | — |
| | 受益証券 | / | / | / | 3,520 | — | — |
| | その他 | — | — | — | — | — | — |
| | 合 計 | — | — | — | 3,520 | — | — |
| 2022年3月期 | 株券 | — | — | — | 5 | — | — |
| | 国債証券 | — | / | — | — | / | — |
| | 地方債証券 | — | / | — | — | / | — |
| | 特殊債券 | — | — | — | — | — | — |
| | 社債券 | — | — | — | — | — | — |
| | 受益証券 | / | / | / | 3,129 | — | — |
| | その他 | — | — | — | — | — | — |
| | 合 計 | — | — | — | 3,129 | — | — |
| 2021年3月期 | 株券 | — | — | — | 4 | — | — |
| | 国債証券 | — | / | — | — | / | — |
| | 地方債証券 | — | / | — | — | / | — |
| | 特殊債券 | — | — | — | — | — | — |
| | 社債券 | — | — | — | — | — | — |
| | 受益証券 | / | / | / | 2,289 | — | — |
| | その他 | — | — | — | — | — | — |
| | 合 計 | — | — | — | 2,289 | — | — |

- ②-2 有価証券の引受け及び売出し並びに特定投資家向け売付け勧誘等並びに有価証券の募集、売出し及び私募の取扱い並びに特定投資家向け売付け勧誘等の取扱いの状況（電子募集取扱業務に係るものに限る。）

該当事項はありません。

- ②-3 有価証券の引受け及び売出し並びに特定投資家向け売付け勧誘等並びに有価証券の募集、売出し及び私募の取扱い並びに特定投資家向け売付け勧誘等の取扱いの状況（電子記録移転有価証券表示権利等に関する業務に係るものに限る。）

該当事項はありません。

- (3) その他業務の状況

該当事項はありません。

(4) 自己資本規制比率の状況

(単位：％、百万円)

| | 2023年3月期 | 2022年3月期 | 2021年3月期 |
|--------------------|----------|----------|----------|
| 自己資本規制比率 (A/B×100) | 619.8% | 703.2% | 608.5% |
| 固定化されていない自己資本 (A) | 1,452 | 1,573 | 1,494 |
| リスク相当額合計 (B) | 234 | 223 | 245 |
| 市場リスク相当額 | 79 | 63 | 86 |
| 取引先リスク相当額 | 9 | 8 | 9 |
| 基礎的リスク相当額 | 145 | 151 | 149 |
| 暗号資産等による控除額 | 0 | 0 | 0 |

(注) 比率、金額ともに表示単位未満を切り捨てて表示しております。

(5) 使用人の総数及び外務員の総数

| 区 分 | 2023年3月期 | 2022年3月期 | 2021年3月期 |
|---------|----------|----------|----------|
| 使 用 人 | 50人 | 51人 | 52人 |
| (うち外務員) | 50人 | 51人 | 52人 |

(6) 役員の業績連動報酬の状況 (投資運用業を行う金融商品取引業者に限る。)

該当事項はありません。

Ⅲ. 財産の状況に関する事項

1. 経理の状況

(1) 貸借対照表

金額（単位：千円）

| 区 分 | 当事業年度 (2023年3月31日) | 前事業年度 (2022年3月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金・預金 | 826,139 | 1,219,528 |
| 預託金 | 3,100,000 | 3,500,000 |
| （顧客分別金信託） | 3,100,000 | 3,500,000 |
| （その他の預託金） | — | — |
| トレーディング商品 | 369,613 | 299,715 |
| （商品有価証券等） | 369,613 | 299,715 |
| 約定見返勘定 | 95,630 | 61,673 |
| 信用取引資産 | 386,566 | 335,093 |
| （信用取引貸付金） | 385,412 | 331,700 |
| （信用取引借証券担保金） | 1,154 | 3,393 |
| 立替金 | 70 | 4 |
| 募集等払込金 | — | — |
| 短期差入保証金 | 30,000 | 30,000 |
| （信用取引差入保証金） | 30,000 | 30,000 |
| 有価証券等引渡未了勘定 | 12,928 | 13,591 |
| 短期貸付金 | — | — |
| 前払金 | — | — |
| 前払費用 | 219 | 352 |
| 未収入金 | 16,135 | — |
| 未収収益 | 16,162 | 16,789 |
| その他の流動資産 | 882 | 775 |
| 貸倒引当金 | — | — |
| 流動資産合計 | 4,854,349 | 5,477,524 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 143,436 | 149,965 |
| （建物） | 38,972 | 43,199 |
| （器具備品） | 4,734 | 7,037 |
| （土地） | 99,729 | 99,729 |
| 無形固定資産 | 17,434 | 9,878 |
| （電話加入権） | 1,447 | 1,447 |
| （その他無形固定資産） | 15,987 | 8,430 |
| 投資その他の資産 | 200,815 | 153,314 |
| （投資有価証券） | 165,211 | 117,125 |
| （出資金） | — | — |
| （長期貸付金） | 10,171 | 10,559 |
| （長期差入保証金） | 17,236 | 17,297 |
| （長期前払費用） | 364 | — |
| （繰延税金資産） | 3,891 | 6,935 |
| （その他の投資等） | 5,121 | 2,608 |
| （貸倒引当金） | △1,182 | △1,212 |
| 固定資産合計 | 361,686 | 313,158 |
| 繰延資産 | — | — |
| 資産合計 | 5,216,036 | 5,790,682 |

貸借対照表（続き）

| 区 分 | 当事業年度 (2023年3月31日) | 前事業年度 (2022年3月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 約定見返勘定 | 60,149 | 51,879 |
| 信用取引負債 | 252,952 | 179,073 |
| (信用取引借入金) | 251,798 | 175,679 |
| (信用取引貸証券受入金) | 1,154 | 3,393 |
| 預り金 | 2,967,135 | 3,490,858 |
| (顧客からの預り金) | 2,887,238 | 3,386,168 |
| (その他の預り金) | 79,896 | 104,690 |
| 受入保証金 | 66,141 | 82,711 |
| (信用取引受入保証金) | 66,141 | 82,711 |
| 短期借入金 | 100,000 | 100,000 |
| 前受金 | — | — |
| 前受収益 | — | — |
| 未払金 | — | 7,915 |
| 未払費用 | 4,060 | 7,723 |
| 未払法人税等 | — | 11,052 |
| 賞与引当金 | — | — |
| その他の流動負債 | — | — |
| 流動負債合計 | 3,450,439 | 3,931,214 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | — | — |
| その他の固定負債 | 3,720 | 3,720 |
| 固定負債合計 | 3,720 | 3,720 |
| 引当金 | | |
| 金融商品取引責任準備金 | 16,373 | 16,373 |
| 引当金合計 | 16,373 | 16,373 |
| 負債合計 | 3,470,533 | 3,951,307 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 343,560 | 343,560 |
| 資本剰余金 | 166,356 | 166,356 |
| (資本準備金) | 166,356 | 166,356 |
| 利益剰余金 | 1,232,173 | 1,332,856 |
| (利益準備金) | 42,000 | 42,000 |
| (その他の利益剰余金) | 1,190,173 | 1,290,856 |
| ((積立金)) | 750,000 | 750,000 |
| ((繰越利益剰余金)) | 440,173 | 540,856 |
| 自己株式 | — | — |
| 株主資本合計 | 1,742,089 | 1,842,772 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額 | 3,413 | △3,397 |
| 評価・換算差額等合計 | 3,413 | △3,397 |
| 純資産合計 | 1,745,503 | 1,839,375 |
| 負債・純資産合計 | 5,216,036 | 5,790,682 |

(2) 損益計算書

| 区 分 | 当事業年度 | 前事業年度 |
|----------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| | 自 2022年4月01日 至 2023年3月31日 | 自 2021年4月01日 至 2022年3月31日 |
| 営業収益 | 533,837 | 778,699 |
| 受入手数料 | 432,097 | 477,745 |
| (委託手数料) | 302,880 | 325,621 |
| (引受け・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料) | — | — |
| (募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料) | 56,721 | 82,892 |
| (その他の受入手数料) | 72,495 | 69,231 |
| トレーディング損益 | 88,705 | 288,188 |
| (株券等トレーディング損益) | 53,290 | 203,968 |
| (債券等トレーディング損益) | 34,820 | 83,630 |
| (その他トレーディング損益) | 593 | 589 |
| 金融収益 | 13,035 | 12,764 |
| 金融費用 | 4,330 | 4,458 |
| 純営業収益 | 529,507 | 774,240 |
| 販売費・一般管理費 | 609,778 | 649,685 |
| (取引関係費) | 89,852 | 91,970 |
| (人件費) | 354,189 | 422,790 |
| (不動産関係費) | 132,578 | 97,311 |
| (事務費) | 3,054 | 3,687 |
| (減価償却費) | 9,973 | 14,564 |
| (租税公課) | 3,621 | 3,376 |
| (貸倒引当金繰り入れ) | — | — |
| (その他) | 16,510 | 15,985 |
| 営業損益 | △80,270 | 124,554 |
| 営業外収益 | 14,158 | 18,301 |
| 雑益 | 14,158 | 18,301 |
| 営業外費用 | 1,945 | 1,433 |
| 雑損 | 1,945 | 1,433 |
| 経常損益 | △68,057 | 141,422 |
| 特別利益 | 4,195 | 58 |
| 投資有価証券売却益 | 999 | — |
| 貸倒引当金戻入 | — | — |
| その他 | 3,195 | 58 |
| 特別損失 | 3,608 | 12,000 |
| 投資有価証券強制評価減 | 1,208 | — |
| 証券取引責任準備金繰り入れ | — | — |
| その他 | 2,400 | 12,000 |
| 税引前当期純損益 | △67,470 | 129,481 |
| 法人税等 | 5,152 | 39,631 |
| 法人税等調整額 | 60 | 104 |
| 当期純損益 | △72,683 | 89,745 |

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

金額（単位：千円）

| | 株主資本 | | | | | | | |
|---------------------|---------|---------|----------|---------|--------|---------|---------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益準備金 | 利益剰余金 | | 利益剰余金合計 |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | | 任意積立金等 | 繰越利益剰余金 | |
| 当期首残高 | 343,560 | 166,356 | — | 166,356 | 42,000 | 750,000 | 501,511 | 1,293,511 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 新株の発行 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 剰余金による配当 | — | — | — | — | — | — | △50,400 | △50,400 |
| 当期純利益 | — | — | — | — | — | — | 89,745 | 89,745 |
| 自己株式の取得・処分 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 株主資本の計数の変動 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| その他 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 当期変動額合計 | — | — | — | — | — | — | 39,345 | 39,345 |
| 当期末残高 | 343,560 | 166,356 | — | 166,356 | 42,000 | 750,000 | 540,856 | 1,332,856 |

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | | | 株式引受権 | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|------|-----------|--------------|---------|----------|------------|-------|-------|-----------|
| | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | 評価・換算差額等合計 | | | |
| 当期首残高 | — | 1,803,427 | 1,951 | — | — | 1,951 | — | — | 1,805,379 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | |
| 新株の発行 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 剰余金による配当 | — | △50,400 | — | — | — | — | — | — | △50,400 |
| 当期純利益 | — | 89,745 | — | — | — | — | — | — | 89,745 |
| 自己株式の取得・処分 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 株主資本の計数の変動 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| その他 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | — | — | △5,349 | — | — | △5,349 | — | — | △5,349 |
| 当期変動額合計 | — | 39,345 | △5,349 | — | — | △5,349 | — | — | 33,995 |
| 当期末残高 | — | 1,842,772 | △3,397 | — | — | △3,397 | — | — | 1,839,375 |

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

金額（単位：千円）

| | 株主資本 | | | | | | | |
|---------------------|---------|---------|----------|---------|--------|----------|----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | | | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金 | | 利益剰余金合計 |
| | | | | | 任意積立金等 | 繰越利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 343,560 | 166,356 | — | 166,356 | 42,000 | 750,000 | 540,856 | 1,332,856 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 新株の発行 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 剰余金による配当 | — | — | — | — | — | — | △28,000 | △28,000 |
| 当期純利益 | — | — | — | — | — | — | △72,683 | △72,683 |
| 自己株式の取得・処分 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 株主資本の計数の変動 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| その他 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 当期変動額合計 | — | — | — | — | — | — | △100,683 | △100,683 |
| 当期末残高 | 343,560 | 166,356 | — | 166,356 | 42,000 | 750,000 | 440,173 | 1,232,173 |

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | | | 株式引受権 | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|------|-----------|--------------|---------|----------|------------|-------|-------|-----------|
| | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | 評価・換算差額等合計 | | | |
| 当期首残高 | — | 1,842,772 | △3,397 | — | — | △3,397 | — | — | 1,839,375 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | |
| 新株の発行 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 剰余金による配当 | — | △28,000 | — | — | — | — | — | — | △28,000 |
| 当期純利益 | — | △72,683 | — | — | — | — | — | — | △72,683 |
| 自己株式の取得・処分 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 株主資本の計数の変動 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| その他 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | — | — | 6,811 | — | — | 6,811 | — | — | 6,811 |
| 当期変動額合計 | — | △100,683 | 6,811 | — | — | 6,811 | — | — | △93,872 |
| 当期末残高 | — | 1,742,089 | 3,413 | — | — | 3,413 | — | — | 1,745,503 |

(4) 個別注記表

[重要な会計方針に係る事項]

① 資産の評価基準及び評価方法

所有有価証券の評価方法は、期末に保有する有価証券をその保有目的により、売買目的有価証券、満期保有目的債券、子会社及び関連会社株式、その他有価証券に区分し、売買目的有価証券については時価法、満期保有目的債券については償却原価法、子会社及び関連会社株式については原価法、その他有価証券のうち時価のあるものについては時価法、その他有価証券のうち時価のないものについては原価法を採用しております。

② 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法によっております。ただし、平成10年4月以降に取得した建物（建物附属設備を除く）ならびに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用し、償却額の計算は税法基準によっております。なお、平成19年3月31日以前に取得したものについては、償却可能限度額まで償却が終了した事業年度の翌事業年度から5年間で均等償却する方法によっております。

(2) 無形固定資産

定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

③ 引当金の計上基準

貸倒引当金は、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

④ 収益及び費用の計上基準

委託手数料については、約定基準に基づいて経理処理をしております。

⑤ リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

⑥ 消費税の処理方法

消費税の会計処理は税抜き方法によっております。

⑦ その他の事項

当社の退職給付制度は、日本生命保険相互会社の確定給付企業年金制度を採用し、2023年3月末現在の要支給額143,553千円に対し、日本生命保険相互会社の年金資産報告書による積立額は166,520千円となっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません

[貸借対照表等に関する注記]

1. 担保に供している資産

貸借対照表に計上の資産で該当するものではありませんが、信用取引負債 252,952 千円の担保として保管有価証券 104,273 千円（期末時価）を差し入れております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額 276,770 千円

3. 関係会社に対する金銭債権・債務

長期金銭債権 10,000 千円

長期金銭債務 0 千円

[損益計算書に関する注記]

1. 関係会社との取引高

営業取引高 15,044 千円

営業取引以外の取引高 3,600 千円

[株主資本等変動計算書に関する注記]

1. 事業年度末日の発行済株式数 2,800,000 株

2. 事業年度末日の自己株式数 0 株

3. 当該事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

2022年6月16日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しています。

金銭配当の総額 28,000 千円

配当の原資 利益剰余金

1株当たりの配当額 10円

基準日 2022年3月31日

効力発生日 2022年6月17日

4. 当該事業年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項

2023年6月15日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しています。

金銭配当の総額 16,800 千円

配当の原資 利益剰余金

1株当たりの配当額 6円

基準日 2023年3月31日

効力発生日 2023年6月16日

[リースにより使用する固定資産に関する注記]

1. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用する主要な物件としてコンピュータ関連機器、電話機器関連、株価等表示機器及び営業用車輛があります。

[関連当事者との取引に関する注記]

開示対象となる重要な取引はありません。

[1株当たり情報に関する注記]

1. 1株当たり純資産額 623円39銭
2. 1株当たり当期純損益 △25円95銭

[重要な後発事象に関する注記]

該当事項はありません。

[その他の注記]

当社の事業報告及び計算書類は、「会社法」(平成17年7月26日法律第86号)、「会社法施行規則」(平成18年2月7日法務省令第12号)、「会社計算規則」(平成18年2月7日法務省令第13号)の規定のほか「証券会社に関する内閣府令」(平成10年総理府令・大蔵省令第32号)及び「証券業経理の統一について」(昭和49年11月14日付日本証券業協会理事会決議)に準拠して作成しております。

2. 借入金の主要な借入先及び借入金額

(1) 短期借入金（単位：千円）

| 借入先 | 2023年3月期 | 2022年3月期 |
|---------|----------|----------|
| (株)熊本銀行 | 50,000 | 50,000 |
| (株)肥後銀行 | 50,000 | 50,000 |

信用取引貸付金収益の原資として借入れております。

(2) 信用取引借入金（単位：千円、単位未満は切捨て）

| 借入先 | 2023年3月期 | 2022年3月期 |
|-----------|----------|----------|
| (株)証券ジャパン | 251,798 | 175,679 |
| 合計 | 251,798 | 175,679 |

(3) 長期借入金はありません。

3. 保有する有価証券（トレーディング商品に属するものとして経理された有価証券を除く。）の取得価額、時価及び評価損益

（単位：千円）

| 種類 | 2023年3月期 | | | 2022年3月期 | | |
|---------|----------|----------|-------|----------|----------|--------|
| | 取得原価 | 貸借対照表計上額 | 評価損益 | 取得原価 | 貸借対照表計上額 | 評価損益 |
| 1. 流動資産 | — | — | — | — | — | — |
| (1) 株券 | — | — | — | — | — | — |
| (2) 債券 | — | — | — | — | — | — |
| (3) その他 | — | — | — | — | — | — |
| 2. 固定資産 | 160,302 | 165,211 | 4,908 | 122,011 | 117,125 | △4,885 |
| (1) 株券 | 127,317 | 132,226 | 4,908 | 89,026 | 84,140 | △4,885 |
| (2) 債券 | — | — | — | — | — | — |
| (3) その他 | 32,985 | 32,985 | — | 32,985 | 32,985 | — |
| 合計 | 160,302 | 165,211 | 4,908 | 122,011 | 117,125 | △4,885 |

(注) トレーディング商品に属するものとして経理された有価証券を除く

4. デリバティブ取引（トレーディング商品に属するものとして経理された取引を除く。）の契約価額、時価及び評価損益

該当事項はありません。

5. 財務諸表に関する会計監査人等による監査の有無

監査法人等による監査は、受けておりません。

IV. 管理の状況

1. 内部管理の状況の概要

(1) 内部管理の状況

| 統括する組織 | 業務を担当する組織 | 主な業務分掌 |
|-----------|-----------|---|
| 内部管理統括責任者 | 監査部 | <ul style="list-style-type: none"> ・法令遵守の統括指導並びに社内監査に関する事項 ・主務官庁等の検査等に関する事項 ・主務官庁等からの調査依頼に関する事項 ・顧客管理に関する事項 ・顧客の苦情処理に関する事項 ・証券事故に関する事項 ・紛争処理に関する事項 ・分別管理業務の検証に関する事項 ・リスク管理状況の検証に関する事項 |
| | 総務部 業務管理課 | <ul style="list-style-type: none"> ・法令遵守の指示・指導に関する事項 ・諸規則（業務・社内関係規程）に関する事項 ・残高照合等に関する事項 ・諸承認に関する事項 ・信用取引等の管理に関する事項 ・重要帳票の管理に関する事項 ・営業資料の承認 ・顧客の相続手続きに関する事項 ・社内規程に基づく監査部監査に関する事項 ・有価証券受渡し業務 ・有価証券の保管に関する業務 ・公社債及び受益証券に関する業務 ・分別管理に関する業務（分別保管に関する事項） ・信用取引業務 ・累積投資に関する業務 ・外国証券に関する業務 ・付随業務に関する業務 ・生命保険代理店事務に関する事項 ・取引報告書の作成及び発送 ・コンピューターの管理及び運営（日常の運営管理） ・法定帳簿等の作成、発送、保管 |

(2) 顧客からの相談及び苦情に対する取扱い方法

お客様からのご相談及び苦情等については、社内規程に基づき、各営業店が苦情等対応統括部署である監査部と連携し、迅速、誠実、公平かつ適切に対応いたします。

また、苦情・紛争の解決にあたっては、当社対応によるもの以外に、外部機関よる公正・中立な立場による解決を図るため指定紛争解決機関である「特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター」（F I N M A C）との間で、特定第一種金融商品取引業務に係る手続き実施基本契約を締結する措置を講じております。

(3) 内部監査体制

取締役会において承認された監査計画・方針に基づき、監査部が監査を実施しており、法令諸規則及び社内規則等各種ルールの遵守状況等を検証しております。

2. 分別管理等の状況

(1) 金融商品取引法第43条の2の規程に基づく分別管理の状況

① 顧客分別金信託の状況

(単位：百万円)

| 項目 | 2023年3月31日現在の金額 | 2022年3月31日現在の金額 |
|--------------------|-----------------|-----------------|
| 直近差替計算基準日の顧客分別金必要額 | 3,013 | 3,381 |
| 期末日現在の顧客分別金信託額 | 3,100 | 3,500 |
| 期末日現在の顧客分別金必要額 | 2,944 | 3,455 |

② 有価証券（電子記録移転有価証券表示権利等を除く。）の分別管理の状況

イ 保護預り等有価証券

| 有価証券の種類 | | 2023年3月31日現在 | | 2022年3月31日現在 | |
|---------|------|--------------|----------|--------------|----------|
| | | 国内証券 | 外国証券 | 国内証券 | 外国証券 |
| 株券 | 株数 | 23,955千株 | 435千株 | 23,085千株 | 383千株 |
| 債券 | 額面金額 | 一百万円 | 3,831百万円 | 一百万円 | 3,982百万円 |
| 受益証券 | 口数 | 22,145百万口 | 1,053百万口 | 22,497百万口 | 1,089百万口 |
| その他 | 額面金額 | — | — | — | — |

ロ 受入保証金代用有価証券

| 有価証券の種類 | | 2023年3月31日現在 | 2022年3月31日現在 |
|---------|------|--------------|--------------|
| 株券 | 株数 | 809千株 | 825千株 |
| 債券 | 額面金額 | — | — |
| 受益証券 | 口数 | 74百万口 | 82百万口 |
| その他 | 額面金額 | — | — |

(注) 上表には、受入代用有価証券のうち顧客分別金の計算対象とされるところの弊社と信用取引を行う母店証券会社への再担保差入分を除く。(証券会社の分別保管に関する命令関係)

③ 対象有価証券関連店頭デリバティブ取引等に係る分別管理の状況

該当事項はありません。

④ 電子記録移転有価証券表示権利等（(令第1条の12第2号に規定する権利を除く。）に限る。）

の分別管理の状況

該当事項はありません。

ハ 管理の状況

| 管理場所 | 区分 | 管理方法 | 定期照合の方法と照合サイクルについて |
|-------------------|------|------|--|
| 取引先金融商品取引業者 | 株券 | 混合管理 | <p>月1回、取引先金融商品取引業者から送られてくる残高証明書等と当社の帳簿を照合しています。</p> <p>また、取引先金融商品取引業者では、当社の固有財産である有価証券を管理する口座と、顧客有価証券を管理する口座を明確に分けて管理しています。</p> |
| | 債券 | 振替決済 | |
| | 受益証券 | 混合管理 | |
| | 外国証券 | 〃 | |
| 信託銀行等 (名義書換ほか) | 株券 | 単純管理 | <p>上場廃止等の株券うち、名義書換等のため、信託銀行等へ提出したものについては、当該銘柄、数量及び提供先が顧客毎に直ちに把握できるよう、当社の帳簿等により適宜管理しております。照合は月に1回行われています。</p> |
| | 債券 | 〃 | |
| | 受益証券 | — | |
| | その他 | — | |
| 本店金庫 | 株券 | 単純管理 | <p>顧客有価証券の保管場所は、当社の固有有価証券の保管場所とは明確に区分し、顧客有価証券についてどの顧客の有価証券であるかが直ちに判別できる状態で保管しています。</p> <p>照合については、年1回の監査法人の監査、年1回の当社監査部の監査が実施されております。</p> |
| | 株券 | 混合管理 | |
| | 債券 | — | |
| | 受益証券 | — | |
| | その他 | — | |
| 株式会社証券保管振替機構 | 株券 | 振替決済 | <p>証券保管振替機構では、当社の固有財産である有価証券を管理する口座と顧客有価証券を管理する口座とを明確に分けて管理しています。</p> <p>また弊社側システムも、帳簿等により、当社の固有財産である有価証券と顧客有価証券とを別々に区分管理しています。</p> <p>照合は毎日、証券保管振替機構との間で自動的に行われますが、年2回以上は残高証明書を取り寄せて、人の手で照合を行います。</p> |
| | 債券 | 〃 | |
| | 受益証券 | 〃 | |
| | その他 | — | |

(2) 金融商品取引法第43条の2の2の規定に基づく区分管理の状況

該当事項はありません。

(3) 金融商品取引法第43条の3の規定に基づく区分管理の状況

該当事項はありません。

<参考時価情報>

株券の参考時価情報

イ. 保護預り等有価証券

| 2023年3月31日現在 | | 2022年3月31日現在 | |
|--------------|----------|--------------|----------|
| 国内証券 | 外国証券 | 国内証券 | 外国証券 |
| 293億3百万円 | 33億16百万円 | 272億72百万円 | 36億90百万円 |

ロ. 受入保証金代用有価証券

| 2023年3月31日現在 | 2022年3月31日現在 |
|--------------|--------------|
| 金額 | 金額 |
| 7億40百万円 | 7億26百万円 |

(注) 上表には、お客様からの受入代用有価証券のうち、母店証券会社への再担保差入分を除く。

V. 連結子会社等の状況に関する事項

1. 当社及びその子会社等の集団の構成

当企業集団は、当社および子会社1社で構成されており、詳細は以下のとおりであります。
なお、連結財務諸表は作成しておりません。

2. 子会社等の商号又は名称、本店又は主たる事務所の所在地、資本金の額、事業の内容等

| 商号又は名称 | 本店所在地又は主たる事務所の所在地 | 資本金の額 | 事業の内容 | 当社及び他の子会社等の保有する議決権の数の合計 | 子会社等の総株主等の議決権に占める当該保有する議決権の数の割合 |
|--------------|-------------------|---------|---------|-------------------------|---------------------------------|
| ミライズアセット株式会社 | 熊本市中央区下通1-7-19 | 2,000万円 | 金融商品仲介業 | 3,000個 | 100% |

以上

「業務及び財産の状況に関する説明書」は2023年3月末時点の内容を記載しております。また、記載金額及び数量は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。なお比率は、表示単位未満の端数を四捨五入して表示しております。(但し、特段の注記がある場合を除きます。)

